

連盟ニュース 神奈川 8月

No.402



「盛夏の潤い」(川崎ハイキングクラブ 畑誠一)

「事故一報」「基金交付申請書」の送付先をお知らせします。

* 「事故一報」の全国・県連へ迅速な連絡

全国窓口：労山基金制度運営委員会メール kikin@jwaf.jp/FAX03-3235-4324

県連窓口：事故一報は jiko1hou@k-rouzan.net 基金交付申請書は kikin_info@k-rouzan.net

神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川 1-18-2 永田ビル 3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 入木田実文

発行年月日 2018年8月1日

振り込み先 ゆうちょ銀行 記号 10280 番号 61104271

名前 カナガワケンキンロウシャサンガクレンメイ

他金融機関からは 028 普通預金 口座番号 61104271



8月号 (No. 402) 目次

ワンポイント「中高年者の登山」	2
① 案内	
「若手のためのクライミング講習会」募集要項	3
②感想文	
アルパインリーダー 丹沢読図実技6 / 17 感想文	4
「ツール・ド・モンブラン(前半)」4会合同トレッキング	6
③議事録	
神奈川県連<事務局長会議>議事録	8
新スポーツ神奈川県連第1回常任理事会報告	11
常任理事会議事録	12
各会の活動報告	12
県連のスケジュール	16

☆ワンポイント「中高年者の登山」☆

健康のため、若いころ登山をしていた、一人で歩くのは危ないなど、きっかけは様々ですが、山登りを始める人が増えています。特に中高年者の間では、自然の中ですごく快適さと、適度な運動による健康増進の点で高い人気を呼んでいます。しかし短時間や低山の山歩きでも油断は禁物、中高年の遭難事故が年々増えています。正しい知識を身につけて、楽しい山歩きをしましょう。

中高年者の体力低下の3つの特徴

1. 行動体力が低下する

行動体力とは、運動を行う際に使う身体能力です。敏捷性（全身反応時間）、持久力（体重あたりの最大酸素摂取量）、柔軟性（立位体前屈）、脚筋力（体重あたりの脚筋力）、平衡性（閉眼片足立ち）は20歳を100%とすると中高年になると60%以下に、平衡性にあっては40%～20%以下にまで低下します。

2. 防衛体力が低下する

防衛能力とは、激しい運動、環境（気温、気圧など）の変化、物理的な衝撃、病原菌の侵入など、身体に加わるさまざまなストレスに対する抵抗力のことです。メンタル面の強さも影響します。

3. 体力の個人差が大きくなる

若い人の間でも体力差は当然ありますが、さらに中高年になると比較にならないほど体力差は大きくなります。若いころの体力を過信してケガや病気などの事故につながったりもします。生活面で自分の身体を大切に扱ってきたかどうかはしっかりしてきます。

安全な登山のために必要なこと

1. メディカルチェック

健康であるかどうか、健康診断や人間ドックで定期的に検査しましょう。



自分の身体を知ること、楽しく運動することができます。

2. 軽い運動すぐに本格的な登山をすることは危険なので、日ごろから運動をして徐々に強度をあげて、最終的に軽い登山のできるような身体を作りましょう。

3. コンディショニング

登山を行う日によい体調でいられるよう、普段から食生活・体調を整えましょう。

4. 体力トレーニング

定期的に山に行くようになって、普段からトレーニングをしておきましょう。

5. 装備

靴、ザック、服装など機能性に優れたものを使いましょう。とりわけよい靴をはく事は重要です。

(鹿屋体育大学・山本正嘉監修より)

I. 案内

若手のためのクライミング講習会

2018年7月26日

日本勤労者山岳連盟 理事長 浦添 嘉徳
同 青年学生委員会 担当理事 三瓶 健

若手クライマーの育成を目的に、秋の谷川岳でクライミング講習会を開催します。「技術レベルの向上を図りたい」「クライミング仲間を増やしたい」など、やる気のある方はぜひご参加下さい。

【実施要項】

- ・日 程 10月13日(土)～10月14日(日)
- ・場 所 谷川岳一ノ倉沢周辺(10/13の宿泊は「土合山の家」)
- ・対 象 「若手」のやる気のあるクライマー(あえて年齢制限はしません)
※少なくともIV級程度のルートをフォローで登れること
- ・必要装備 マルチピッチクライミングに必要なギア一式(ダブルロープは50mで)
- ・募集人数 10名
- ・募集対象 労山会員(労山基金に5口以上加入していること)
- ・参加費 実費のみ(「土合山の家」宿泊費(一泊夕食付6千円、現地までの往復交通費))
- ・参加講師 日本勤労者山岳連盟所属の講師5名
- ・締 切 9月30日(日)
- ・申 込 み 下記アドレスへ申込書に必要事項を記入して送信して下さい
(氏名、生年月日、血液型、住所、本人連絡先、緊急連絡先、基金加入口数、所属会)
- ・申込み先 日本勤労者山岳連盟 青年学生委員会
〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24
FAX 03-3235-4324 Eメール jwaf@jwaf.jp
- 問い合わせ 青年学生委員会・三瓶(さんべ)
Eメール k.sanbe@gmail.com

【当日の主なスケジュール】

- ・10/13 8:00土合山の家集合、顔合わせ～マチガ沢出合「まむし岩」で技術確認。
リードの確保、フォローの確保、懸垂下降他
夕方終了後、懇親会(山の家泊)
- ・10/14 数パーティに分かれて一ノ倉沢のルートを登攀、夕方終了、反省会后、解散。
- ・天候により内容が変わります。詳細は適時お知らせします。 以上

II. 感想文

アルパインリーダー 丹沢読図実技6 / 17 感想文

受講生 澤井綾子

読図は一度、山岳会でやったもののコンパスの使い方がメインだったため、今回のリーダー学校で教わった内容は非常にためになりました。沢線尾根線、危険箇所を入れるのも初めてで、地形図に記入すると立体的に地形が見えてくるから不思議でした。

机上を受けて地図を準備して、実技を受けると、現地での生の情報が大事だということがよくわかりました。例えば地形図でコルを想定していたところが実際はコルではなかったりなど。設定した確認地点を地形の特徴を3つ以上あげて決定するのに、3つめが挙げづらいときもありました。そんな時は少し先に進んでみることもひとつの方法だと学びました。



下山時、尾根側のルートからそれている気がしたものの、その場で大きな声でリーダーに伝えられずにいたら、先生が一声かけてくださりみなさんの足をとめてくださいました。リーダーはメンバーの声も聞くこと、なにか不安・疑問がある場合はみなで話し合っ取りのぞくこと、メンバーの発言を聞くことができない人はリーダーになってはならない、ということをおっしゃり、結果みなで話して尾根側に戻ってルートから逸れずに下山できました。リーダー学校では、リーダーとはどうあるべきかやメンバーシップとはどういうことかを毎回考えさせられます。普段の仕事にも通じる部分があり、今後の講習も目的意識を持ってしっかり臨みたいと思います。

マスキ嵐沢 補講 7 / 8 初級 唐司紀子

今回は後藤さん作成のカスタマイズ地形図を見ながらの山行でしたが、沢線を細かく最後まで引くことにより、実際の地形と照合せやすく、迷いが少なかったように思えます。下山路は踏み跡や印に頼ると、前に歩いた人が道迷いしている可能性があるため、地図とコンパスで確認しなければいけないと思いました。

その他、自然の岩にある古いアンカーや木を支点に使う場合に少しでもそれらの負担が少なくなるようなビレイデバイスの使い方、常にエスケープルートを考えること、位置確認はグループ全員で声に出して確認すること、現在地の推定→特定のプロセスなど、時間をかけて説明していただき、内容の濃い補講だったと思います。技術、知識ともに

まだまだですが、一つ一つ積み重ねていきたいと思っています。



朝から快晴、連日の猛暑と相まって絶好の沢日。何回か沢登りは行っているが今日行く沢は遡行図の本では中級とあり、初めての中級の沢に胸はドキドキしっぱなしです。私の班は講師に香取さん、補助講師に矢後さん、川隅さん、達見さん、私の5名。

各自装備を着け、時間高度を合わせ出発。雨が降っていない割には水量があるなあ。水はあまり冷たくなさそう等と思いながら歩いて行くと本谷沢手前の10mの滝に到着。ここからが本番です。

私が不慣れなため、我が班のリードは講師の香取さん。滝を見て、どこから登ろうかな(?)と考えているうちに香取さんがスイスイと登って行きます。その速くてスムーズな動きはため息が出るぐらいです。10mの滝では残置のロープとスリングがありましたが、香取さんがロープを出し確保して下さり、身体が伸びないよう近くにある手がかりを探しながら、慎重に登ります。

また、声も掛けて下さったおかげでルートも外さず登ることができました。

小さな滝や大きい石を越えて進んで行きます。

ときおり折雲が日射しを遮ってくれ、また、足元が濡れているのもあってか、思ったより暑さも感じず熱中症の心配もいらなさそうです。

一ヶ所、水の落ち口から登る滝があり手がかりが見つからず、上から香取さんがスリングを出して下り、引っ張り上げて頂くような形で登ることができました。

書策新道に出てからザレタ斜面を登り、大日鉱山の廃校口を探したのですが見つからず、書策新道に戻り帰路につきました。途中の休憩場所でハーケンの種類や打ち方を指導して頂き、実際に岩に打ち込み、打ち込んで行く音の変化を確認することができました。



沢沿いには山百合や岩タバコの花が咲いており、涼だけでなく目でも楽しませてくれました。

さて、丹沢の沢と言えお決まり(?)のヒルですが、休憩中に矢後さんの手に付いて直ぐに払いのけたので、吸い付かれることもなくすみしました。

各自ヒルが付いていないか確認し下山するも、駐車場手前の道端で装備を外していると、溪流スパッツに3匹も付いていてビックリ! 侮れない奴だなと思いました。今日の沢登りでは、熱中症はもちろんのこと怪我をされた方もなく、全員無事下山。

指導して下さった講師の方がた、そして参加された皆さん、色々ありがとうございました。

「ツール・ド・モンブラン(前半)」 4 会合同トレッキング

横浜ハイキングクラブ 武井哲也



日 程：2018年6月22日（金）～7月2日（月）

歩いたのは6月24日（日）～6月30日（土）

参加者：CL岡坂、門前、武井（以上横浜HC）、**新座山の会3名**、**三郷山の会1名**（以上埼玉県連所属）、**さかいで山の会2名**（香川県連所属）、個人1名、合計10名 + ガイド

フランスのシャモニを拠点におこなったツール・ド・モンブラン会山行に参加しました。ツール・ド・モンブランはヨーロッパの最高峰、モンブラン（4,810m）山群を一周する壮大なトレッキングコースです。途中8つの谷と5つの峠をフランス、イタリア、スイスの国境を徒歩で越えて行きます。総距離は約170kmですが、今回は約100kmを6泊7日間の日程で歩きました。トレッキング途中の景色は雄大で草原やお花畑、牧草地、氷河に覆われたアルプスの大展望など、毎日変化に富んでいました。

6月23日（土）☀

CLの案内で1日シャモニの観光旅行でした。ロープウェイと登山電車を使い、3つの展望台に上る贅沢な観光でした。展望台から360度見回して、アルプスの絶景に圧倒されました。

6月24日（日）☀ ツール・ド・モンブラン1日目<ノートルダム・ゴルジェ→ボンノム小屋>

ツール・ド・モンブランのスタートは、可愛い教会があるノートルダム・ゴルジェから溪谷沿いの道を登り始めました。溪谷の激流が掘ったトンネルを見たり、牧場の中を歩いたりしていると、だんだんアルプスらしい景色になってきました。



6月25日（月）☀ ツール・ド・モンブラン2日目<ボンノム小屋→モッテ小屋→セーニュ峠→エリザベッタ小屋>

ボンノム小屋からフー峠に登り、アイゼンを使い雪の斜面を下ると一面のお花畑でした。セーニュ峠でフランスとイタリアの国境を越え、雪の残る山道を歩いて17時頃やっとエリザベッタ小屋に到着しました。今回のツール・ド・モンブランで一番長い1日でした。



6月26日（火）☀ ツール・ド・モンブラン3日目<エリザベッタ小屋→メーゾン・ヴィエイユ小屋→クールマイユール>

氷河をバックにエリザベッタ小屋で記念撮影をした後小屋を出発。イタリア側のモンブランを見上げながら湿地帯を歩き、登山口から登ると今回のツアーのハイライトとも言える、目の前にモンブランの絶景が広がるアルプ・ヴィエイユに着きました。クールマイユールの町のホテルに着いた後、お土産の買い物をしました。

6月27日（水）☀ ツール・ド・モンブラン4日目<クールマイユール→ベルトーネ小屋→ボナティ小屋>

町を出て山道をベルトーネ小屋まで登り、昼食に小屋の名物料理を食べました。その後、モンブラン山群の大パノラマを横目に見ながらほぼ平坦な道を歩き、ボナティ小屋に到着しました。



6月28日(木) ☀ ツール・ド・モンブラン5日目<ボナティ小屋→バス停⇒バス⇒アルプヌーバ→フェレ峠→ラ・フリーー>

ボナティ小屋から下山して道路に出て、バス停からバスに乗ってアルプヌーバへ向かいました。アルプヌーバからの登山道にはたくさんの登山者が登っていました。あいさつを交わしながら山道を登りフェレ峠のスイスの国境に到着しました。ここでお弁当を食べた後、スイスの山々を眺めながらラ・フリーーの町へ向かいました。

6月29日(金) ☀ ツール・ド・モンブラン6日目<シャンペ・ダン・パ→ボヴィーヌ小屋→トリアン村>
ラ・フリーーからバスで、シャンペ・ダン・パに向かい、そこから牧歌的な山間を歩きトリアン村に行きました。日本にもありそうなのどかな風景でした。

6月30日(土) ☀ ツール・ド・モンブラン7日目<トリアン→バルム峠>

トリアン村から山道を登り、スイスとフランスの国境があるバルム峠に着くと、突然目の前にモンブランの大パノラマが広がりました。ここが今回のツアーの終点です。みんなで互いに握手を交わしたり、記念撮影をしたりした後、ロープウェイとバスでシャモニに帰還しました。



今回のツール・ド・モンブランは、楽しいだけでなく実りの多いツアーでした。

- (1) 毎日、天候に恵まれ、絵葉書の中のようなアルプスの雄大な景色の中を歩けたのは一生の思い出になりました。
- (2) 山道、山小屋、食事など、日本とは全く違うヨーロッパのハイキングのスタイルや、ガイドさんの海外から見た日本についての感想などを聞き、カルチャーショックを受けました。
- (3) 7日間連続して歩けたことがハイキングに対して大きな自信になりました。



(「ツール・ド・モンブラン」後半の感想文は次号に掲載予定です)

Ⅲ. 議事録

神奈川県連＜事務局長会議＞議事録

日 時：7月10日（火）19：00～20：30

出席会：川崎労山（山崎）、川崎HC（原）、柴笛クラブ（井上）、藤沢山の会（山本）、相模AC（渡辺）、みずなら（阪上）、緑星山の会（大森）、カモの会（金見、田所）、山ブキの会（青柳）、Grazie（神野）以上10会 清藤（常任理事）、丸尾（事務局・記録）

欠席会：AC横浜、横浜HC、小田原ナーゲル山の会、さがみ山友会、雪童山の会、地平線の会、やま++、メーグリ家、M&C 以上9会（こぶしの会は連盟脱退）

司会：相模AC 渡辺

【1】県連からの連絡事項（清藤）

■6/12環境部環境調整課より長年環境保全に貢献してきた神奈川県連盟の功績をたたえ平成30年度神奈川県環境保全功労者「湘南地域県政総合センター所長表彰」表彰されました。

■6/16（土）～17（日）2018年度関東役員交流集会・山梨県主管にて開催。

6/20（水）労山基金制度運営委員会「南関東地域実務講習会」が開催され神奈川県から9名参加。

■労山基金の「給付金交付申請手順の見直し」についての現状は以下のとおりです。

①6/4常任理事会による提案：交付申請書に必要な書類、領収証など一式添付し理事長に手渡し、もしくは理事長宅へ郵送する。常任理事会開催日に事故一報と照合、承認後捺印し労山基金制度運営委員会に県連から郵送する。その際に封筒に必要な郵便切手を貼って同封してもらう。

②6/20 労山基金制度講習会での神奈川県連からの質疑応答：

Q 交付申請書に地方連盟の責任者の捺印がなぜ必要か？仕事が多忙のため書類の受け渡しや提出期限を守るのが負担になることがある。

A 労山基金の交付金は各会が申請し地方連盟が承認します。今後の遭難予防対策を考える上でも大切な手順です。地方連盟の理事会等で申請を承認し事故原因を分析します。捺印は代表者でなくてもよい。提出期限に遅れそうな時は事前に運営委員会に連絡すれば受付可能。

→申請の電子化についても検討する。

③6/28横浜ACより県連常任理事会宛で①の提案に対して以下のような意見が提出される。

「交付申請書の理事長印は、メールのやり取りで

取得し、書類の郵送は各会で行う」としたい。理由は、1. 理事長が書類の紛失、郵送未着に対応する責任が発生する、2. 必要書類には、領収書等の再発行不可能な書類が含まれている、3. 事故は発生させた本人に責任があり、当事者（所属会）が責任をもって手続きを行うべきである。横浜ACでは労山基金制度運営委員会に直接メールで相談した結果、交付申請書の理事長印は6/26の委員会にて決まりPDF等の電子的手段での取得でOKとの確認を得たそうです。

④本日参加の各会の意見はおおむね横浜ACの意見に賛同であるので次回常任理事会に①案を差し戻した上で検討していただきたいが次の点に疑問が残りました。

県連への交付申請書類提出期限を月末にすると常任理事会が翌月第1月曜、労山基金制度運営委員会の給付審議会が当月第4火曜日で給付は最短で可能になるが第1月曜を過ぎた場合、承認を得るのに1カ月も遅れを生じることになる。このような場合は承認印のみ先行してもよいのではないか（給付を先払い）。

常任理事会での事故原因の分析がなぜ必要なのか理由がよくわからない。事故分析と交付申請書の承認とは別ではないのか。

PDFでの承認可能な場合、添付書類一式もPDFで送る事になるのでは？（そんな面倒なことは避けたいとの意見多数）。

交付申請書のメール送付先のアドレスはどこになるのか？（kikin_info@rouzan.net? 理事長? 遭対?）（文中棒線事務局）

■クリーンハイク報告書作成、感想文は7/7まで。8月末までに完成予定。

■6/30(土)～7/1(日)全国遭難対策部担当者会議が行われました。神奈川遭対部1名参加。

■6/28「夏山の気象講座」アンケート結果。プロガイドで気象予報士による「夏山の気象について」講習会参加者43名(女性22名・男性21名) アンケート回収37名(女性18名・男性19名)

○福島子ども保養プロジェクト7/30～8/1支援実行員会報告、カンパは(指定口座に送金する)。
○8/21(火)財政について拡大理事会予定。総会時の意見対応。5専門部からの財政データ。

【2】全国、他(清藤)

○スポーツ連盟

*第5回福島のこどもたちプロジェクト<藤本理事長より、新スポ神奈川としても、県労山に全面的に協力をして成功させたい、との力強い発言がありま

した。

*県に申し入れ、団体要求としては県労山から昨年に引き続き、「丹沢・大山国定公園のトイレの整備と完備」を要求しました。

○6/16(土)～17(日)第33期全国女性担当者会議

○6/30(土)～7/1(日)全国遭難対策部担当者会議

○7/7(土)～8(日)第21回自然保護講座「南アルプスを知ろう樫島集会」

○9/15(土)～16(日)第21回全国ハイキング交流集会・・・静岡県主管です。

○11/23(金祝)～24(土)第17回全国登山研究集会 in 愛知・・・各会にて参加者を募って申し込みをお願いします。

【3】各会からの報告(事故・ヒヤリハット報告など)

	会名	会員数(出席者)			事故・ヒヤリハット報告	その他
		3月	5月	7月		
1	川崎労山	26名(益田)	26名(山崎)	27名(山崎)	丹沢・源次郎沢・8mCS 滝にて滑落。左手肘にスリ傷、左手小指を突指。医師の診断は小指の腱が部分的に切れている。	
2	川崎HC	121名(原)	116名(原)	117名(原)		6/24 総会 副会長増員
3	川崎柴笛クラブ	31名(井上)	24名(井上)	25名(井上)	6/24 60代、釜の沢西俣、落石が左足首を直撃、避けようとして右足膝を捻る(半月板損傷)	
5	横浜HC	80名(宮原)	87名(宮原)	87名(丸尾)	6/3 唐松岳、60台男性、浮石で左足捻挫、左膝損傷。6/2-3 初級登山学校大室山実技山行 3日、下山中木に頭をぶつけた、その後頭痛あり受診。頭部外傷。	
6	藤沢山の会	105名(山本)	99名(山本)	99名(山本)	ヒヤリハット：6/1 富士山下山時 8合目周辺よりブルドーザー道をトレイルランで下山して疲労(アンケート未提出)	(注)トレイルランは競技大会に参加する場合は労山基金の対象とはならない。

7	小田原ナーゲル				5/16 60代 朝日連峰 斜面トラバース中、雪面滑落 10m、左肩強打による捻挫	
8	相模AC	32名(渡辺)	32名(渡辺)	33名(渡辺)	ヒヤリハット3件①5月40代男性、後立山鎗温泉の先杓子沢出会いの先で下りすぎる②6月50代男性、奥秩父笛吹川東沢東のナメ沢、アプローチで体調崩す、寝不足、早めの歩行、高湿度③6月谷川岳一ノ倉沢烏帽子沢奥壁中央カンテ、50代男性、落石多数、懸垂下降のロープ回収で末端の結び目ほどかかず引く。	役員3名交代。
9	みずなら	44名(阪上)	40名(坂上)	40名(坂上)	7/2 羅臼岳・雪溪で尻セード(滑落?)をして岩にぶつかり半月板損傷	6/3 ファーストエイド講習会開催、8/23 安藤由美子氏「登山体講演会」、ココヘリ20台加入し親機貸出。使い方講習会開催。
10	緑星	2名(大森)	2名(大森)	2名(大森)	なし	
12	カモの会			71名(金見)		6/10 ファーストエイド 6/24 総会 会長、事務局長交代
16	山ブキの会	7名(青柳)	7名(青柳)	7名(青柳)	なし	
19	Grazie			11名(神野)	ヒヤリハット ①丹沢・モミソ岩(アンケート未提出)	副会長交代

※役員変更が複数会あり加盟団体調査表の提出をお願いした。

【4】自由討論

Q みずなら山の会では講習を頻繁に行っているようですね。

A. 会員の知識や技術の向上を願うのとやる気を引き出すため会での講習は毎月行っている。教育担当者は複数。いろいろな人脈から幅広いゲストを招聘することがあるのでなるべく他会の方にも参加していただきたいと企画しています。費用は会からの負担と他会参加者からの徴収でまかなっている。

(以上)

新スポーツ神奈川県連盟 第1回常任理事会報告 県労山 伊藤 健司

日 時：7月26日(木) PM7:00~8:30

場 所：神奈川県連事務所

出席者：藤本理事長、佐藤副理事長、吉成事務局長、山下事務局次長、常任理事、理事 計6名

6月の定期総会後の、最初の常任理事会でした。

1. この間の活動について

7月7日と8日、2018年神奈川反核平和マラソンが、ランナー71名、サポート員44名 合計115名の参加で、神奈川県内の8コース177kmに渡って行われ、県内34の自治体(神奈川県、川崎市、横浜市、相模原市、座間市、大和市、海老名市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、厚木市、小田原市等)からの後援・メッセージが寄せられ、反核・平和のアピールを行うことが出来ました。

今月7日から、北陸から九州に停滞した前線が台風7号により活発化した、岡山県・広島県等の「西日本豪雨被害」への義援金の取組み・呼び掛けがありました。

“新”湘南月例マラソンの活動状況が報告され、財政の裏付けとともに、来年5月に、現在の湘南月例マラソンを引き継ぐ形で、立ち上げる予定で準備を進めています。

9月1日、2日の関東ブロックスポーツセミナーの参加状況(目標:40名、現在24名+7)、準備状況(送迎バスの手配、卓球設備)の報告がありました。<9月2日 9:30~ 山崎健スポーツ科

学研究所所長の講演 「身体運動を科学する」があります。>

2. 夏から秋に向けての活動について

川崎海の祭典 7月27日~29日

福島の子どもたち保養プロジェクト 7月30~8月1日。<神奈川スポーツ連盟よりの協力・支援として、水泳指導員4名の派遣、Tシャツの贈呈、スイカ10個、横浜月例マラソンからカンパ金(1万円)等の申し入れがありました。>

2018反核平和スポーツの集い in 広島 8月5日から6日。新専従の山下さんを神奈川県連盟の代表として派遣することにしました。

第56回神奈川県スポーツ祭典が、各種スポーツ(テニス、水泳、バレーボール、駅伝、陸上)が県内の各地で、9月から11月まで、開催されます。

県労山定期理事会 9月9日

3. その他

スポーツのひろば特別企画「神奈川de座談会」(20代から40代の若手座談会) 9月か10月に予定している。以上

県連 常任理事会議事録

日時：8月6日(月) 19:15~21:15

場所：県連事務所

出席：入木田、渡辺、小林、早川、丸山、加藤、伊藤、関根、若澤、清藤(記録) 欠席：三瓶(敬称略)

【連絡・報告】

全国関係

- *7/7(土)~8(日)第21回自然保護講座「南アルプスを知ろう樫島集会」…大雨のため中止
- *9/15(土)~16(日)第21回全国ハイキング交流集会…静岡県主管です。参加は各会にて申し込み。
- *10/13(土)~14(日)若手のためのクライミング講習会…技術レベルの向上、クライミング仲間を増やしたいなど若手クライマー育成を目

的とします。詳細、申し込みは理事MLに配信しています。

- *11/23(金祝)~24(土)第17回全国登山研究集会in愛知…各会にて申し込みをお願いします。

連絡

- *「リニア新幹線から南アルプスの自然を守ろう」の署名が1万筆超えて7/18国会に提出した。
- *西日本豪雨災害救援募金のお願い…県労山連盟員もボランティアに参加した。県連でも定期理事

会などで呼びかけたいと思います。

*公募型バスハイクなどの旅行業法の取り扱いについて・・・公開バスハイクや各種登山学校、講習会など不特定多数に募集をかける場合の注意点について。2016年に自治体が主催した夏季合宿などのツアーが旅行業法に違反すると中止が相次いだことから、2017年営利性、事業性がないと判断される場合は、旅行業法の適用がないと判断する解釈を明確化しました。取り組む場合、判断に迷う場合は環境庁HP旅行業法掲載アドレスまでアクセスして確認してください。

*ココヘリの入会数が6月現在で584名となりました。目標の700名近くなりましたが1000名まで受け付けることになりました。全国HP(労山×ココヘリ)から申し込みができます。

県連関係

*労山基金交付申請書の扱いについて・・・流れとしては交付申請書と必要書類を県連代表者に提出して署名、捺印して県連から提出するとあった。A C横浜から紛失、未着に対する責任、必要書類には再発行が不可能な書類が含まれている、当事者が責任をもって手続きを行ったほうが良いとの意見があり、当会から全国労山基金担当者に問い合わせた結果、6/26の委員会にて交付申請書の代表者印がPDF等の電子メールで取得可能でも良いと報告があり事務局長会議で意見を聞いた所、おおむねA C横浜の意見に賛成である。県連ではPDF等の電子メールで交付申請書が送られてきたら事故1報と照らし合わせ、第1月曜日に常任理事会にて承認を行い地方連盟事故確認書に署名、捺印し当事者に返信する。当事者は労山基金運営委員会に交付申請書と必要書類を送り第4火曜日の審議会で認定されれば指定口座に振り込みされる。常任理事会後に送られてきた場合は常任理事メールにて承認を得て速やかに返信する。[県連の基金申請は kikin_info@k-rouzan.net](mailto:kikin_info@k-rouzan.net)まで。尚、労山基金担当者マニュアルは労山運営委員会にて入手できます。

*福島子ども保養プロジェクト7/30(月)～8/1(水)終了しました。神奈川新スポーツ連盟から協力、支援として水泳協より水泳指導員4名、横浜月例マラソンからTシャツ、タオル、1万円のカンパ、神奈川ウォーキング協会よりスイカ10個いただきました。

*資料：1018年度7月までの事故1報。

*8/21に予定されていた拡大理事会は討議事項がまとまらず常任理事会となりました。

*9/9(日)に開催予定の定期理事会は9/8(土)になりました。場所は新スポ月例マラソン2階会議室13:00から

事務局

*連盟ニュース8月号発行

討議

連盟費の改正について7月の常任理事会にて討議を行いました。2017年度50周年記念事業を行い、教育部決算が予算オーバーしたこともあり、改正については見通しが立っていないのが現状です。

教育部活動に関する提案が新たに出されメールにて意見交換を行った。○教育部の活動については常任理事会に教育部長の参加が少ない、○理事会には殆どの理事が欠席、○教育部の活動、運営、会計が不透明である連盟ニュースへの活動紹介がない、○予算オーバーがあった事などを踏まえて討議を行った。教育部長から常任理事会開催日はやむを得ない理由から出席できない代わりに教育部である入木田さんが出席して報告している。会計報告についてはデーターを会計に開示している。予算オーバーについては来期から受講料の値上げ、講師謝礼の値下げなどで連盟費の負担を減らしていく、活動については受講生の感想文を載せて見える化していく。若手の人材育成についてはアルパインとかハイキングのジャンルは関係なく先人たちが築いてきた山の財産を次世代繋げ育てて行く事に協力をおねがしたい。

規約に県連盟講師派遣要請規定P12第1条に本連盟に所属する会、もしくは連盟員(役員)は教育を行うための講師の派遣を要請する事ができる。机上講習は5000円以上、実技指導は1日10000円以上、交通費、必要経費は要請者が負担する。宿泊をとまなう場合には別途協議と明記されています。1条に明記されている文言は会や連盟員に該当するものであって、教育部で行っているアルパインリーダー学校は県連が主催するものなのでこの講師料は該当しないのではないかと。8/21に再討議となった。賛否両論ありますが若手育成のための教育機関である教育部のスタッフが人並ならぬ貢献を若手の指導のために尽力をつくしている、登山技術継承のためスタッフの確保は重要であるとの意見。また、莫大な予算を計上して予算内で収まらなければ運営をやめてはとの意見も出されています。

【他】

*新スポ理事会・・・理事ML、連盟ニュース

臨時常任理事会8月21日(火)19:15～

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告 7月

活動報告送り先: jim001rouzan.kanagawa@k-rouzan.net

沢	人数	形態	H:ハイキング、A一般登山、S雪山	人数	形態	SKI山スキー、R岩、氷アイスクライミング	人数	形態
川崎ハイキングクラブ 機関紙「りんどう」 http://kawasaki-hc.life.coocan.jp/ 報告:原重徳 計116名(男60 女56) 平均年齢65.5歳								
6/15-17 二王子岳	8	A	6/23-7/1 スイモンプラントレッキング	6	H	7/8 宝永山(富士山)	17	A
6/17 入笠山	12	A	6/25-27 橋本峠、上高地	4	A	7/7-11 早池峰/秋田駒/安達太良	4	A
6/16 美しの森	7	H	6/30-7/1 常念岳	4	A	7/10 乾徳山/金峰甲武信	4	A
6/17-19 尾瀬	1	H	6/30-7/2 焼石岳	10	A	7/13-16 白山	4	A
6/17-20 羊蹄山、ニセコ、余市	7	A	7/4 都民の森(三頭山)	8	H	7/15 鳥甲山	3	A
6/20-23 栗駒山、蔵王山	9	A	7/11-15 大峰奥崖道	1	A	7/15 焼岳(北アルプス)	1	A
6/21-24 暑寒別山	2	A	7/1 菊花山(大月)	15	A	7/15 屏風岩山	15	A
6/23 鷹ノ巣山	7	A						
川崎柴笛クラブ 機関誌:「柴笛レポート」 http://shibabueclub.blogspot.jp/ 報告:井上 瑞代 計25名(男14 女11) 平均年齢52歳								
6/2 三頭山	4	H	6/9 北川	2	R	6/23 森吉山	2	A
6/2 カーネルロック	2	R	6/9 一ノ倉沢衝立岩中央稜	4	R	6/23-24 甲斐駒ヶ岳	中止	A
6/2 塔ノ岳	1	H	6/9 中倉山~庚申山	中止	A	6/23-24 燧ヶ岳	中止	A
6/2 安達太良山	2	H	6/9 有明山	中止	A	6/23-24 小川山	中止	R
6/2-3 編笠山・権現岳	中止	H	6/9 牛ノ寝通り	2	A	6/23-24 石筵川	3	沢
6/2-3 編笠山・権現岳・阿弥陀岳	1	H	6/10 シダクラ沢	中止	沢	6/23-24 釜ノ沢西俣	5	沢
6/2-3 一ノ倉沢・南稜(中央稜)	5	R	6/16 天園近くの滑川	中止	H	6/24 権現岳	1	A
6/2-4 魚野川本流中~上部	2	沢	6/16 尾瀬	1	H	6/24 榛名黒岩	2	R
6/3 大倉尾根	2	H	6/17 越沢バットレス	1	R	6/24 大岳山	3	H
6/3 屏風岩	1	R	6/17 西丹沢箒杉東面	L校	A	6/24 甲府幕岩	中止	R
6/3 磐梯山	2	H	6/17 恵那山	2	A	6/25 雄国沼	2	H
6/3 加入道山~睦が丸	2	H	6/17 大山	3	A	6/30 乾徳山	2	H
6/4 権現山	3	A	6/17 滝子山	1	H	6/30 甲斐駒ヶ岳	1	A
6/9 大倉尾根	2	H	6/17 赤岳天狗尾根	2	A	6/30-7/1 北岳	2	A
6/9 大若沢	4	沢	6/18 女峰山	1	A	6/30-7/1 北岳バットレス第4尾根	2	R
アルパインクラブ横浜 http://acyjpn.org/ 報告:岸 直哉 計26名(女8名,男18名) 平均年齢:42歳								
7/1 乾徳山旗立岩中央稜	2	R	7/14-16 飯豊連峰	1	A	7/21 甲府幕岩	2	R
7/1 沖ビリ沢	1	A	7/14-16 小川山	1	R	7/22 セドノ沢左俣(リーダー学校)	1	A
7/8 西丹沢・マスキ嵐沢	1	A	7/15 西沢溪谷(ハイキング)	2	A	7/22 三つ峠	2	R
7/8 奥多摩・真名井沢	1	A	7/16 聖人岩	1	R	7/22 西丹沢モロクボ沢	1	A
7/14 小川山	1	R	7/19 小川山(ポルダール)	1	R	7/22 西丹沢・女郎小屋沢	1	A
7/14-16 劔岳 チンネ左稜線・八ツ峰	4	R	7/21 奥多摩・小坂志川上流	1	A			
相模アルパインクラブ http://sagamiac.sakura.ne.jp/ 報告:山行管理部 計33名(男24名 女9名) 平均年齢 57歳								
6/30-7/1 丹波川本流徒渉訓練	4+5	沢	7/8 大菩薩	1	A	7/15-16 小川山廻り目平	2	R
6/30-7/1 小川山廻り目平	2	R	7/8 越沢バットレス	1+3	R	7/12-17 小川山廻り目平	1	R
6/30-7/1 小川山廻り目平	1+1	R	7/9-10 谷川平元新道	1+2	A	7/13-17 小川山廻り目平	3	R
7/1 小川山廻り目平	3	R	7/10 奥秩父ナメラ沢	2	沢	7/17 小川山廻り目平	1	R
6/30-7/1 塔の岳	1	A	7/10 城山	2	R	7/18 八ヶ岳硫黄岳	1+1	A
7/2 菰釣山	1+1	A	7/9-12 早池峰山・岩手山	1+4	A	7/21-22 水晶沢・女郎小屋沢	2+4	沢
7/2 八ヶ岳杣添尾根	2	A	7/12-13 小川山廻り目平	1	R	7/21-22 小川山廻り目平	1+1	R
7/2-5 南ア白根三山	1+1	A	7/13-15 小川山廻り目平	2	R	7/22 セドノ沢左俣	2+1	沢
7/8 マスキ嵐沢	1+4	沢	7/14 北ア唐松岳	1+3	A	7/24-25 富士山	1+1	A
7/8 葛葉川本谷	1+2	沢	7/13-15 奥利根前深沢狩小屋沢	1+2	沢	7/24-25 小川山廻り目平	3	R

7/8 マスキ嵐沢	5	沢	7/13-16 白山	2+2	A	7/25 大室山一加入道山	1+1	A
7/8 苗場山	1+1	A	7/14-16 南ア北岳バットレス	1+3	R	7/21-28 森吉山・白神岳・岩木山・八甲田山	2	A
7/8 御坂十二ヶ岳の岩場	1+2	R	7/14-16 小川山廻り目平	2+1	R	7/29 丹沢表尾根	1	A
7/8 小草平の沢	1	沢	7/14-16 小川山廻り目平	1+5	R			

藤沢山の会 機関誌:「稜線」 <http://fujisawa-yamanokai.com>

報告:山本博生 計101名(男44 女57) 平均年齢66歳

7/1~2 火打山~妙高山	1+	A	7/14 櫛形山	5	A	7/21 岩戸山	2+	H
7/2 大倉尾根~塔ノ岳	2	A	7/14 大山	1	H	7/21 塔ノ岳	2+	A
7/2~14 ツール・ド・モンブラン	1+	A	7/14 天城山	2	A	7/21 富士山富士宮口	1	A
7/3 雨山コース鍋割山	3	A	7/14 影信山	1+	A	7/22 水無川セドノ沢(県連AL学校)	3+	沢
7/6~20 北東北の山々	4	A	7/14~15 富士山	2+	A	7/25~29 白馬三山・祖母谷温	1+	A
7/8 マスキ嵐沢(県連AL学校)	1+	沢	7/14~16 西湖・精進湖	1+	H	7/26 三つ峠山~水雲山	1+	A
7/8 三国山稜	8	A	7/15~17 鳥海山、月山	5	A	7/27 勘七ノ沢	6	沢
7/8 筑波山	3	A	7/16~17 鳳凰三山	5	A	7/28~29 白馬~梅池	1+	A
7/9 安達太良・杉田川	2+	沢	7/17 にゅう・白駒池	3	H	7/29~31 燕岳	1+	A
7/9 川苔山	3	A	7/18 塔ノ岳表尾根	2+	A	7/30 高尾山、景信山	3+	A
7/13 畦ヶ丸	5	A	7/20 岩水沢	2+	沢	7/30 葛葉川本谷	1+	沢
7/13 表尾根三ノ塔	1+	A	7/20 富士山須走口	2	A	7/31~8/3 裏剣	1+	A
7/14 葛野川 釜入沢	6+	沢	7/21 マスキ嵐沢	6+	沢			

みずなら山の会 機関誌:「みずなら」 <http://www.mizunarayama.com>

報告 阪上晃一 計40名(男23 女17) 平均年齢60歳

7/1-4 雌阿寒岳・羅臼岳	3	A	7/10-12 斜里岳・羅臼岳	1+7	A	7/21-22 丹沢水晶沢・女郎沢(県連救助隊訓練)	2+6	沢
7/1 富士山	1	A	7/14 八ヶ岳硫黄岳	9	A	7/21-22 白馬三山・不帰嶮	1	A
7/1 丹沢山	1	A	7/14 釜入沢	1+8	沢	7/21-22 明神主稜	1+3	R
7/3 鷹取	4	R	7/14-16 吾妻連峰	1+1	A	7/22 丹沢セドノ沢[L学初級]	1+	多 沢
7/7 三つ峠	2+3	A	7/14-16 明神東稜・主稜	2	R	7/22 丹沢セドノ沢[L学中級]	2+	多 沢
7/7 富士山	1+11	A	7/14-16 国立登山研修所と周辺山域	1+	多	7/22 奥多摩カーネルロック	12	R
7/8 越沢バットレス	2	R	7/14-16 斜里岳	1+3	A	7/23 丹沢水無川本谷	4	沢
7/8 丹沢山・棚沢の頭	9	A	7/14-16 焼岳	1+1	A	7/24 丹沢水無川本谷	1	沢
7/8 湯河原幕岩	2	R	7/15-16 小川山	1+2	R	7/28 前川大滝沢	2+4	沢
7/8 阿寺岩場	2+1	R	7/20-21 谷川馬蹄形	1+4	A	7/29 鷹取山	1	A
7/11 三つ峠	2+3	R	7/21 塔ノ岳	2+1	A	7/31 赤岳真教寺尾根・県界尾根	1+1	A
7/11 鷹取	4	R	7/21 塔ノ岳	1	A			

Grazie <http://ocha-time.xsrv.jp/>

報告:相川 時子 計11名(男7 女4) 平均年齢43歳

6/30-7/1 小川山	2+2	R	6/30-7/1 蛭ヶ岳	2	A	7/8 西丹沢・マスキ嵐沢	3	R
7/13-7/15 立山・劔岳	3	A	7/14-7/16 北岳バットレス	3	R	7/14-7/16 八ヶ岳縦走	2	A
7/21 稲子岳左カンテ	1+2	R	7/21 塔ノ岳木の又小屋	1+2	A	7/21 三つ峠	2	R
7/22 恵那山	1	A						

横浜ハイキングクラブ 機関誌「四季」 <http://yokohamahiking.com/>

報告=宮原義明 計87名(男41:女46)平均64.2歳

7/3~6 ツールドモンブラン	7		7/1 権現山~扇山	3		7/15 鎌倉アルプス	1	
7/2 定例会	60		7/1~2 菰釣山	6		7/15 瑞牆山	1	
7/14~15 至仏山	13		7/8 十二ヶ岳	3		7/16 羅臼岳	2	
7/15 川苔山	12		7/8 塔ノ岳	1		7/17 斜里岳	2	
7/18 富士山・双子山	9		7/8 塔ノ岳・鍋割山	2		7/18 雌阿寒・阿寒富士	2	
7/21~22 八ヶ岳	10		7/9 金時山	6		7/21~22 至仏山	4	
7/26 運営委員会	14		7/11~12 尾瀬ヶ原	1		7/21~24 燕岳~蝶ヶ岳	4	
7/1 秋田駒ヶ岳	5		7/12~13 奥鬼怒山	1		7/22~23 尾瀬ヶ原、至仏山	3	
7/1 磐梯山	2		7/14 伊豆が岳	3		7/26 水雲山	1	
7/1 小仏城山北東尾根	6		7/15 高尾山	5		7/26~28 鳥海山	1	

M&C(マウンテニアリングアンドクライミング) http://mandc.moo.jp/								
報告: 計23名(男16 女7) 平均年齢47.6歳								
7/1錫杖岳	2 R	7/8広沢寺	1+ 1 R	7/20-22白馬三山 大雪溪~柵池高原	1+1 H			
7/1安倍川白ん沢左俣	2 沢	7/12金峰山	1+1 R	7/21-22瑞垣 小ヤスリ、大面、カンマンボロン	2 R			
7/1小川山	1+ 1 R	7/13-16槍ヶ岳・北鎌尾根	1+1 R	7/21-22小川山	2+1 R			
7/1小川山	2 R	7/14-16笠堀川 光来出川	1+1 沢	7/21春の戻り雪、ガマルート	2 R			
7/1ホラノ貝ゴルジュ	1+ 1 沢	7/14-16カサメリ沢	1+2 R	7/21西丹沢 水晶沢	1+3 沢			
7/6-8アンドラ公国。Andorra Ultratrail Vallnord. Mitic	1 トラン	7/14-16北穂滝谷 第四尾根、 ドーム西壁ニューウェーブ	1+1 R	7/22甲府梶山	1+1 R			
7/7釈迦ガ岳、黒岳	2 H	7/14-16劔チンネ	1+3 R	7/22セドノ沢右俣&左俣(県連L学校講習)	2+1 R			
7/7瑞牆山	1 H	7/14-16槍ヶ岳西稜	1+3 R	7/23ガマスラブ、八幡沢	1+4 R			
7/8三つ峠	2 R	7/14-15白州、瑞牆	2 R	7/25カサメリ沢ドーム	2 R			
7/8天王岩	3 R	7/14-15小川山	1 R	7/25劔岳 源次郎尾根平蔵谷 側壁	1+1 R			
7/8立場川本谷左俣	1+ 1 沢	7/15-16甲府幕岩	1+1 R	7/29瑞牆	2 R			
7/8嘆きの岩	1 R	7/15-16甲斐駒Aフランケ赤蜘蛛	1+1 R	7/29大源太川・北沢本谷	1 沢			
7/8甲府幕岩	3 R	7/18屏風岩近辺	1+1 R	7/31富士山	1 H			
7/8-10吾妻連峰・中津川本流	1+ 1 沢	7/20-22涸沢	1+3 H					
やま++ http://yamaplpla.sakura.ne.jp								
報告: 計12名(男9女3) 平均年齢58.9歳(4/1現在)								
7/8~9 至仏山	A	4	15 鋸岳	A	1+2	23~25 白馬岳	A	3+1



劔岳 長次郎谷を登る 2018-8-3

県連のスケジュール

日	曜	8月	日	曜	9月	日	曜	10月
1	水	アルパインリーダー-机上	1	土	関東B自然保護交流	1	月	常任理事会
2	木	救助隊運営会	2	日	関東B自然保護交流	2	火	
3	金		3	月	常任理事会	3	水	アルパインリーダー-机上
4	土		4	火		4	木	救助隊運営会
5	日	初級登山学校実技(救助隊補助講師)	5	水	アルパインリーダー-机上	5	金	
6	月	常任理事会	6	木		6	土	
7	火		7	金		7	日	
8	水		8	土	定期理事会13:00	8	月	
9	木		9	日		9	火	
10	金		10	月		10	水	
11	土		11	火	事務局長会議	11	木	
12	日		12	水		12	金	
13	月	事務部会	13	木		13	土	
14	火		14	金		14	日	
15	水		15	土		15	月	事務局部会
16	木		16	日		16	火	
17	金		17	月		17	水	
18	土		18	火		18	木	救助隊運営会 初級登山学校机上
19	日		19	水		19	金	
20	月		20	木	初級登山学校机上 救助隊 運営会	20	土	
21	火	常任理事会	21	金		21	日	初級登山学校実技
22	水		22	土		22	月	
23	木		23	日		23	火	
24	金		24	月		24	水	
25	土	アルパインリーダー-実技	25	火	自然保護委員会	25	木	
26	日	救助隊定期訓練 アルパインリーダー-実技	26	水		26	金	
27	月	自然保護委員会	27	木		27	土	
28	火		28	金		28	日	
29	水		29	土	初級登山学校実技 アルパインリーダー-実技	29	月	自然保護委員会
30	木		30	日	初級登山学校実技 アルパインリーダー-実技	30	火	
31	金					31	水	

2018年の全国集会・会議予定

- 8/10-11第3回「山の日」記念全国大会
- 9/15-16全国ハイキング交流集会
- 11/23-24全国登山研究集会
- 2/18-18全国労山評議会